



1 石光寺
中將姫が蓮糸で織った曼陀羅を染めたとされる染の井という井戸がある。また牡丹の名所としても知られ、春牡丹と寒牡丹の開花期には多くの花見客で賑わう。



2 傘堂
延宝2年に、郡山藩主本多政勝の影堂として家臣によって建立された。三度折願すれば、長い病による下(しも)の世話を人にかけず、自分も苦しむことなく、又、命が終わる時は人に迷惑をかけることもないという伝承がある。



3 當麻寺奥院
當麻寺の一番奥に位置する奥院。當麻曼陀羅の極楽浄土を表す境内最大の庭園「浄土庭園」には牡丹・紅葉をはじめ四季折々の花が咲く。



4 當麻寺西南院
裏鬼門の守り寺院として創建されたのが始まりである。本堂には重要文化財の三観音を祀り、江戸時代初期の庭園では水琴窟の音色も楽しめる。



5 當麻寺護念院
中將姫の棲身旧跡寺院として多くの信仰を集めている。回遊式庭園は日本唯一の双塔を最も身近な借景とし、春には樹齢三百年以上のしだれ桜、ほたん、大つじ群の花々が楽しめる。



6 當麻寺中坊
當麻寺最古の由緒を伝える塔頭。本尊・導き観音の信仰の他、後西天皇が愛でた大和屈指の名園「香穉園(こうくうえん)」や丸窓の茶室など文化財も豊富である。



9 棚機神社
日本最初の棚機(タナバタ)の儀式が行われていたと言われており、現在は、木立の中に「タナバタさん」と呼ばれる石の祠が置かれ、織物の神様である天棚機姫神が祀られている。



10 綿弓塚
松尾芭蕉が門人千里の旧里である竹内に滞在したときに詠んだ句を記念し、文化年間に建てられた句碑。芭蕉が詠んだ「綿弓や琵琶になくさむ竹の奥」の句は有名。



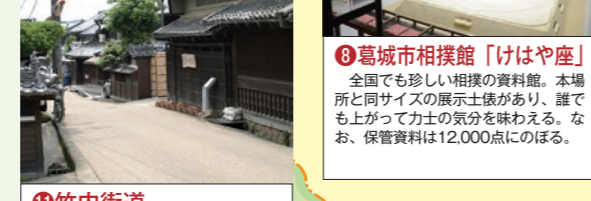
12 長尾神社
祭神は天照大神と豊受大神、水光姫命と白雲別命である。日本最古の官道である竹内街道や初瀬街道の起点に鎮座している。大和に住む大蛇の頭は三輪明神にあり、尾は長尾神社まで至ったとの伝承もある。



13 孝女伊麻旧跡
旧下市街道より伊邪那岐神社に向かう道を少し入ったところにある石碑。その昔、病弱な父親への孝行に生涯を尽くした孝女伊麻をたたえたもの。



7 當麻蹶速塚
相撲の始祖として知られる當麻蹶速の塚と伝えられている五輪塔。垂仁天皇の時代に當麻蹶速と野見宿禰とが力比べをし、これが日本で最初の日天覧相撲と伝えられている。



11 竹内街道
推古天皇21年に開通した飛鳥の都と難波を結ぶ、最古の官道。沿道には古社寺や旧蹟が多く、また大和棟の民家がたち並び、今なお昔の面影をとどめている。平成29年4月に日本遺産に認定された。



14 二上山
雄岳と雌岳の二峰から成り、万葉集にも詠まれた山。毎年多くの登山客が訪れ、絶好のハイキングコースになっている。また山頂からの眺めも非常に良い。



8 葛城市相撲館「けはや座」
全国でも珍しい相撲の資料館。本場所と同サイズの展示土俵があり、誰でももがって力士の気分を味わえる。なお、保管資料は12,000点にのぼる。



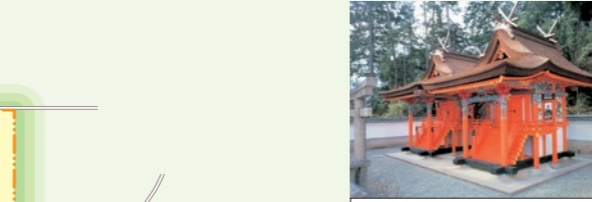
15 大津皇子の墓
天武天皇の第3皇子に生まれたが、あまりに勇敢で聡明な資質のため24才で謀反の罪をせせられ、死罪になった。皇子の死を嘆き悲しんだ姉の大伯皇女の「うつそみの人なる我や明日よりは二上山を弟世と我が見む」という万葉集の歌は有名。



16 調田坐一事尼古神社
御祭神の一事尼古大神(ひとことねこのおかみ)は、古来より一つの願い事なら必ずかなえてもらえる一願成就の神様。拜殿には、古い鞍馬が多数奉納されている。



17 柿本神社
祭神は「万葉集」第一級の歌人と称される柿本人麻呂。石見国(鳥根県益田市)で没した人麻呂を770年に改葬して、かたわらに社殿を建てたのが始まりといわれる。



18 村井邸
村井家は代々庄屋を務め、苗字帯刀免許の家柄と伝えられている。住宅は元禄12年に上棟、翌13年に完成したと考えられている。但し、一般の民家のため、公開はしていない。



21 博西神社
祭神は、北殿が下照比売命、南殿が菅原道真とされており、社殿は重要文化財にも指定されている。



22 屋敷山古墳
5世紀中頃の築造とされる前方後円墳(全長135m)で、古代豪族葛城氏に関係するといわれ、国指定史跡にもなっている。



23 竹内街道
正式には「葛山火雷神社(かつらきにいますほのいかずちじんじや)」という。旧忍海郡14ヶ村の総鎮守社。県天然記念物に指定されているイチイガシが群生し、県指定史跡の竹内街道古墳もある。



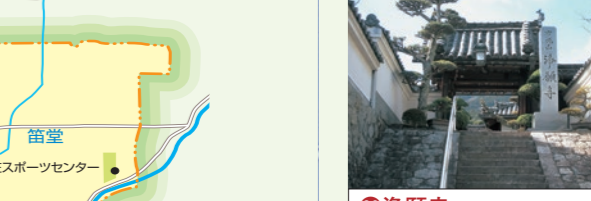
24 葛城市歴史博物館
葛城地域の全域を空から見渡せるコーナーや屋敷山古墳出土の長持型石棺を展示したコーナーなどがあり、葛城市の歴史と文化を楽しむことができる。



25 慶雲寺
布施氏の菩提寺となっている臨済宗南禅寺派の寺。本堂の大悲閣は大きめの三間堂で正徳年間に建てられたもの。境内に布施行種の墓がある。



26 浄願寺
寺伝では行基の開山、もしくは文徳天皇の勅願によるといわれている。一旦は焼失したが、再建され、阿彌陀如来像を本尊とした。現在は子授け、水子供養に人々が訪れる。



27 置恩寺
布施氏の氏寺。奈良時代のはじめ、行基が創建したと伝えられている。桧一木造りの十一面観音立像が国の重要文化財に指定されている。



28 置恩寺
布施氏の氏寺。奈良時代のはじめ、行基が創建したと伝えられている。桧一木造りの十一面観音立像が国の重要文化財に指定されている。

